

資料 2 1

身近な地域での
子育て・子育て支援活動について

川崎区内地域子育て支援センターの概要

1 設置状況

名 称	場 所	開設時間	備 考
かわさき	市立川崎小学校敷地内	9 時～4 時 30 分	独立施設（日進町保育園担当）
むかい	市立向小学校敷地内	9 時～4 時 30 分	独立施設（大島保育園担当）
ふじさき	市立藤崎保育園内	9 時～4 時 00 分	併設施設（（藤崎保育園）
あいいく	愛育会館内	9 時～4 時 00 分	併設施設（夜間保育所あいいく）

2 事業内容

- (1) 親子でゆっくり過ごす場所の提供（遊びのひろば）
- (2) 育児不安等についての相談指導（相談のひろば）
相談指導を行うとともに、情報の提供・援助の調整に関するを行う。
- (3) 子育てに関する講座や地域交流の開催（学びあいのひろば）
子育てサークル等の育成・支援
- (4) 地域の保育資源の情報提供（伝えあいのひろば）
- (5) 区内子育て支援活動団体への人材派遣及び技術提供
（「ふじさき」がコーディネートし区内保育園の協力で実施）
- (6) 地域子育て懇談会の実施
- (7) その他

3 事業の実施状況

- (1) 利用状況（平成 17 年 4 月から 10 月）

名 称	開所日数	新規登録者数	合計登録者数	親子利用者延数
かわさき	144日	1,000人	3,601人	16,813人
むかい	144日	379人	1,678人	13,586人
ふじさき	143日	231人	584人	7,850人
あいいく	137日	-	-	2,773人

あいいくは登録制をとっていない。

- (2) 相談数（平成 17 年 4 月から 10 月）

名 称	相談数（件）
かわさき	506
むかい	229
ふじさき	272
あいいく	106

(3) 事業の実施状況

定例事業

名 称	事業名	内 容	実施回数	参加人数(合計)
かわさき	おたのしみタイム	お誕生会、等職員で行う。(週2回実施)	41回	2,200人
	すこやかタイム (すくすく相談)	保健福祉センター保健師の健康講話と相談	隔月1回	48人
	箏の会	ボランティアによる演奏と親子の楽器体験	隔月1回	226人
	絵本の会	ボランティアによる絵本の読み聞かせ	隔月1回	28人
むかい	お楽しみタイム	手遊び、パネルシアター、体操など	毎週1回	1,580人
	誕生会	誕生児を紹介し、みんなで祝う	毎月1回	550人
	すくすく講座	保健福祉センター保健師、保育園園長、看護師、栄養士による子育てや健康、食事についての話と個別相談	毎月1回	70人
	つくって遊ぼう	身近な素材を使っでの親子製作	毎月1回	368人
	うたの会	ボランティアの演奏によるリズムあそび	2回	83人
	絵本の会	ボランティアによる絵本の読み聞かせ	毎月1回	219人
ふじさき	赤ちゃんとおそぼ!	0・1歳児親子を対象に遊びやミニ講座を行う	毎月1~2回	76組
	子育て講座 (保育有り) 毎月1~2回	離乳食講座(初期・中期、後期・完了期・乳児)と時期をあわせ少人数で行う	3回	30人
		健康講座(歯の話、応急法)	2回	72人
		利用者が講師(ビーズ講習、粘土製作)	2回	16人
	親子お絵かき 毎月2~3回	リサイクル製作や、季節に合った製作を親子で楽しむ	18回	171組
	保育園行事との関連	園児とおそぼ	5回	71人
		ミニコンサート	1回	70人
		夏まつり	1回	65人
		お話し会	1回	56人
		焼き芋会	1回	80人
その他	体重測定 藤崎保育園体験保育申込み受付 夏期プール開放(7月中旬~8月)	月1回 常時 週4回	- 10組 198人	
あいいく	手作り会	身近な材料を使って製作	月1回	121人
	手あそび会	手遊び、パネルシアター、本読みなど	月1回	104人

学習・講座事業（平成 17 年度 予定も含む）

名 称	内 容	参加数	
		大人	子ども
かわさき	9 / 28 おはなし会	45	54
	7 / 21 離乳食の話	15	15
	9 / 28 おはなし会	45	54
	10 / 25 離乳食の話	20	22
	10 / 26 リトミックの会	40	42
	11 / 4 絵本の講座	19	19
	12 / 12 フラワーアレンジメント		
	12 / 14 音楽会		
	1 / 25 リトミックの会		
	2 / 6 おはなし会		
	2 / 20 フラワーアレンジメント		
むかい	10 / 7 おはなし会	42	45
	11 / 8 親子体操	30	33
	12 / 13 親子コンサート		
	1 / 19 おはなし会		
	2 / 16 リフレッシュ体操		
	3 / 17 音楽会		
ふじさき	11 / 26 子育て講座“いいおかあさんてなあに”		
	2 / 7 親子体操		
あいいく	5 / 25 親子遊び	18	21
	11 / 15 栄養士さんのお話		
	未定 歯科のおはなし		

(4) 地域交流（平成 17 年度予定も含む）

名 称	内 容	参加数	
		大人	子ども
かわさき	10 / 12・13 秋まつり	145	177
	11 / 29 川崎区子育てフェスタ合同イベント		
	1 / 13 動物ふれあい会		
	未定 人形劇		
むかい	11 / 29 川崎区子育てフェスタ合同イベント		
	3 / 7 動物ふれあい会		

(5) 地域活動支援(「ふじさき」がコーディネートし区内保育園の協力で実施)

移動地域子育て支援センター(H17年4月~10月)

名 称	場 所	実施回数	延参加人数
子育てパークふじさき	川中島小学校敷地内 旧川中島幼稚園	週1回	510組

地域子育て支援活動(地域との共催)

名 称	場 所	運営主体	協力保育園	実施回数
ホットパーク	プラザ大師	保健福祉センター 児童家庭支援担当	四谷・観音町・藤崎	月1回
小田 すくすく子育てらんど	小田こども 文化センター	小田母親クラブ	小田・東小田	月1回
浅田 すくすく子育てらんど	浅田こども 文化センター	浅田母親クラブ 京町母親クラブ	日進町・京町	月1回

人材派遣及び技術提供(協力)

名 称	場 所	運営主体	協力保育園	実施回数
川中島パーク	旧川中島 幼稚園	川中島パーク 実行委員会	センターふじさき	月1回
子育てサロン渡田	渡田老人 いこいの家	渡田民生委員児童委 員協議会	渡田・新町	月1回
子育てサロン小田	小田中央 町内会	小田中央渡田民生委 員児童委員協議会	センターふじさき	月1回
子育てサロン大師	大師こども 文化センター	大師地区民生委員児 童委員連合会	センターふじさき	月1回
子育てサロン田島	プラザ田島		センターふじさき	月1回
殿町子育てパーク	殿町こども 文化センター	保健福祉センター 児童家庭支援担当	出来野・大師	月1回
子育てサロン旭町ぴよ ぴよ	旭町こども 文化センター	川崎中央民生委員児 童委員協議会	中島 センターむかい	月1回
おたのしみ会	ふれあい館	ふれあい館	センターふじさき	月1回
ラッコルーム	大島3丁目 町内会館	大島3丁目 町内会	西大島・大島	月1回

4 地域子育て懇談会の実施

	かわさき	むかい
実施日	平成 17 年 10 月 24 日 (月)	平成 17 年 10 月 27 日 (木)
委員構成	町内会長 2 名 民生委員児童委員 3 名 主任児童委員 1 名 私立幼稚園長 1 名 乳幼児子育て経験者 1 名 乳幼児保護者 (利用者) 3 名 教育文化会館職員 1 名 保健福祉センター保健師 1 名 南部療育センター職員 1 名 川崎小学校校長 幼児教育センター職員 1 名 ボランティア代表 1 名	大島地区連合町内会長 大島町づくりクラブ代表 1 名 大島地区民生委員児童委員協議会長 主任児童委員 1 名 私立幼稚園長 1 名 乳幼児保護者 (利用者) 2 名 ボランティア代表 1 名 教育文化会館社会教育振興係長 南部地域療育センター 1 名 保健福祉センター保健師 1 名 向小学校長 1 名 川崎区役所地域振興係 1 名 幼児教育センター室
事務局	川崎区役所こども総合支援担当主幹 川崎区保育園管理運営担当 (兼務) 日進町保育園長 地域子育て支援センターかわさき担当 3 名	川崎区役所こども総合支援担当主幹 川崎区保育園管理運営担当 (兼務) 大島保育園長 地域子育て支援センターむかい担当 3 名

5 地域の協力状況 (平成 17 年 4 月から 10 月)

名称	内容	実施回数	実人員
かわさき	掃除	週 1 回	2
	装飾	月 1 ~ 2 回	1
	琴演奏と演習	月 1 回	1
	ピアノ演奏	隔月 1 回	1
	名札づくり	不定期	2 ~ 3
	室内掃除 (利用者)	月 1 回	4 ~ 5
むかい	園芸・清掃・営繕	週数回 ~ ほぼ毎日	2
	製作準備・名札作り・遊具作り	随時	7
	絵本読み聞かせ	月 1 回	1
	ピアノ演奏	月 1 回	1
ふじさき	子育て講座のボランティア	11 / 2 6	3

地域子育て支援センターかわさき

子どもの成長を大切に守り育てていきます。

- ・ 親と子どもたちを丸ごと受けとめながら子育てのお手伝いをしていくこと。
- ・ 地域との連携やボランティアの方々からたくさんの力をお借りして運営していくこと。
- ・ 子どもたちの年齢や育ちに見合った遊具やあそびを提供すること。

遊びのひろば

季節感の感じられるお部屋の装飾を配置し親子がホッとできる場づくりを心がけました。

部屋の装飾

うさぎの部屋（幼児向き）では親子で色々な素材を使って装飾づくりができるコーナーをつくりました。素材を組み合わせることで季節の飾りができる過程を楽しんでほしいと思い、今後も内容を豊富にしていきたいと考えていま

お楽しみタイム

毎週水・金曜日の2回お楽しみタイムを行っています。内容は年齢にかかわらず楽しめるものを計画しましたが、参加人数が増え続けているので、今後の対応を検討中です。

学びあいのひろば

講座は10月からとなりましたが、昨年好評だったものを取り入れた為、定員を上回る申し込みがあります。年明けに2回目を計画している講座もいくつかあります。

奇数月の第3火曜日に区役所保健福祉センターの保健士による講座と個別相談を行っています。

5月...利用者との交流

7月...夏の過ごし方

9月...生活リズムについて

保育園栄養士による離乳食の話を7月に実施し、2回目を10月下旬に予定しています。1回目は個別の質問が多く出されました。

相談のひろば

職員がプレイルームに出向くと、離乳食・発育・離乳について・しつけなど子どものことから家族との関係等の話しが聞かれます。隔月の講座での保健士に相談にのってもらうことや保育園の栄養士からのアドバイスも、親にとって貴重な時間になっています。スタッフだけでなく、専門的な機関との連携の大切さを感じています。

電話での相談や、相談をするために来所する方も時々みえます。一人で抱えずに相談したり、話したりできる雰囲気づくりを心がけていきたいと考えます。

伝え合いのひろば

保育園で発行されている、健康だよりや保健だよりをファイルして各部屋におくようにしました。

子どもの生活、病気、食べやすい献立など1口メモ的なものが主で、目を通してある姿も多くなりました。

又、保健福祉センター発行の子育て情報誌も読みやすく好評です。

幼稚園入園前の親が情報を求めているため、近隣の幼稚園のパンフレットが見られるようにファイルをおいています。

掲示している**感染症情報**も話題に上り、予防注射接種につながっていくようです。



地域子育て支援センターむかい

子どもの成長を大切に守り育てていきます。

- ・ 親と子どもたちを丸ごと受けとめながら子育てのお手伝いをしていくこと。
- ・ 地域との連携やボランティアの方々からたくさんの力をお借りして運営していくこと。
- ・ 子どもたちの年齢や育ちに見合った遊具やあそびを提供すること。

遊びのひろば

清潔で安全であることを基本に、親子がホッとできる場づくりを心がけています。

部屋の環境

りんご(0,1歳児)、みかん(2~5歳児)の両部屋とも、年齢・発達に見合った遊具やコーナーを用意し、ゆったりとした中で遊びを楽しめるようにしています。今後ボランティアの方々の協力を得ながら、手作り遊具を増やしていく予定です。ホールではからだを動かして楽しめる遊具を用意していきます。

お楽しみタイム

毎週水曜日にお楽しみタイムを行っています。内容は年齢にかかわらず楽しめるものを計画しています。

学びあいのひろば

講座 10月からとなりましたが、昨年好評だったものを取り入れ、定員を上回る申し込みがあります。年明けに2回目を計画している講座もあります。

すくすく講座

区役所保健福祉センター保健師(と、大島保育園職員(園長、看護師、栄養士)による講座と個別相談を行っています。

6月...利用者との交流 **9月...心を育むということ**

7月...夏の過ごし方 **10月...保育園について**

8月...夏の飲み物について

相談のひろば

伝え合いのひろば

子どもの健康、発育、しつけ、などに関する情報を、できるだけわかりやすく、タイムリーに掲示・チラシ等で発信していくよう、心がけています。

感染症情報も予防注射接種の参考になっているようです。

他支援機関の情報をできるだけ提供するようにしています。

保健福祉センター発行の子育て情報誌も読みやすく好評です。

幼稚園入園前の親が情報を求めているため、近隣の幼稚園のパンフレットが見られるようにファイルをおいています。

職員がプレイルームに出向くと、発育・離乳について・しつけなど子どものことから家族との関係等の話など聞かれます。すくすく講座で保健師、保育園職員などに相談にのってもらい、もらうアドバイスも、利用者の方にとって貴重なものになっているようです。スタッフだけでなく、専門的な機関との連携の大切さを感じています。

電話での相談や、相談をするために来所する方も時々みえます。一人で抱えずに相談したり、話したりできる雰囲気づくりを心がけていきたいと考えます。



「川崎区こども総合支援連絡会議」の設置と経緯

1. 設置 平成17年5月30日

2. 目的 川崎区におけるこどもの総合支援策を検討するために区内のこども関連施策実施機関等の連携を図ることを目的とする。

3. 構成員 15機関、17名

南部地域療育センター所長

区内市立保育園代表館長

区内子育て支援センター代表

南部児童相談所所長

教育文化会館社会教育振興係長

幼児教育センター室長

市立小学校長会川崎支部代表校長

市立中学校長会川崎地区代表校長

市立田島養護学校長

区内こども文化センター代表館長

保健福祉センター地域保健福祉課長

〃 保健福祉サービス課長

川崎区社会福祉協議会地域課長

区内私立幼稚園代表園長

川崎市ふれあい館代表

(順不同)

【事務局：川崎区役所こども総合支援担当参事、主幹、主幹〔併任〕】

4. 会議開催経緯

第1回会議(平成17年6月8日開催)

議題 こども総合支援担当の業務について

各機関で把握しているこどもの現状について

各機関における課題について

第2回会議(平成17年7月28日開催)

議題 講演「こどもの情報提供に関する個人情報保護条例の運用について」(講師；行政情報課主幹)

各機関の役割と連携について

各機関における市民活動団体との協働について

第3回会議（平成17年10月7日開催）

議題 外国籍、外国文化をアイデンティティーとする児童に関わる課題
について

幼稚園児を取り巻く課題について

障害のある児童を取り巻く課題について

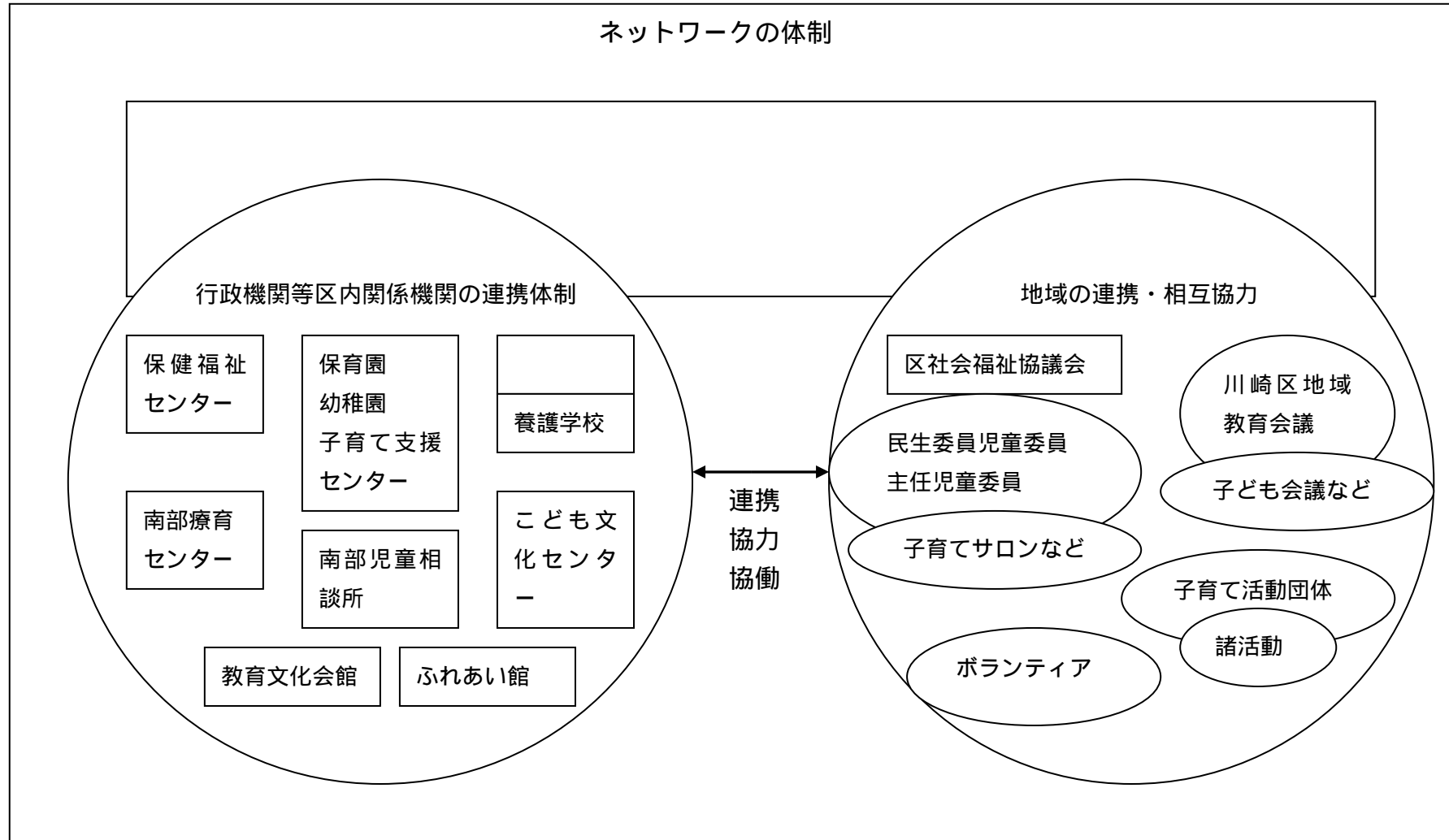
- * 頻発する子どもを巡る諸被害の二次被害防止に向けて、子どもを預かる地域の各機関へ速やかに情報を伝達するための「地域緊急情報連絡網」を新設した。

5. その他

「異年齢児交流事業」の実施

- ・ 日時 平成17年10月2日（日）午前10時40分～11時
- ・ 参加者 約260名
 - 内訳 未就学児 約90名
 - 小学生 約80名
 - 未就学児保護者 約80名
 - その他（高齢者等） 約10名
- ・ 場所 向小学校運動会会場（校庭）
- ・ 事業内容 未就学児、保護者と小学生によるダンス演技

川崎区こども総合支援ネットワーク体制イメージ図



川崎区における子どもを取り巻く課題

(「川崎区子ども総合支援連絡会議」等から明らかになった課題)

孤立化する親子に対する支援が必要です。

- ・ 情報不足などから子育て支援センターや子育てサロンなどの支援施設に行くことができず孤立化している親子への誘いかけが求められます。
- ・ 核家族化による子育て力が低下している保護者へ子育てを経験した世代からの助言が必要です。
- ・ 外国籍、外国文化をアイデンティティーとする親子など言語の不自由性から孤立化する親子への支援が必要です。

通訳、翻訳体制の不十分性が問題となっています。

- ・ 各関係機関から必要性が求められていますが、体制が十分図れていません。
- ・ 多文化の理解の場の設定などで共通理解を図ることが求められます。

保護者の無理解による支援の拒絶が問題となっています。

- ・ 軽度発達障害などの疑いがある子どもに関して、保護者が検査・診断を拒絶する事例も多く見られます。
- ・ 被虐待の疑いのある子どもに関する虐待防止が欠かせません。

子ども支援関係機関との協働が求められます。

- ・ 施設運営に関わるボランティア協力をお願いしたいと思っています。
- ・ 男性・高齢者などの協力を通じた子育て・子育て参画を実現したいと思っています。